

大虫さくらまつり



昨年に引き続き「大虫さくらまつり」を4月14日から20日の一週間開催しました。オープニングに合わせるように、しだれ桜も満開を迎え、期間中延べ400人の皆様に大虫へお越しいただきました。

古民家をカフェとして開放し、日替わりでイベントを企画しました。しだれ桜を眺めながらお弁当を食べたり、音楽を奏でたり、古民家の囲炉裏のそばで談話と、春の一日を思い思いに過ごしていただきました。

運営に当たっては、多くの方に協賛していただき、様々な形で携わっていただきました。音楽演奏、カフェのおもてなし役に体験コーナーの講師役、フードバザー、そして1口500円の協賛金という形で「大虫さくらまつり」を支えていただいた人は約150人になりました。

今後は、「大虫」出身者以外でも第2、第3の故郷と思う人々の「まつり」になって行ったらと思っています。

【大虫さくらまつり実行委員会・伊藤】



宮島クルージングinみやじま丸！



JR西日本のご厚意で、昨年度より始まった、みやじま丸でのクルージング。障がい者とその関係者（施設関係者、ヘルパーなど）を対象に、無料で宮島周辺散策のクルージングを楽しませてくれています。定期船として使われているみやじま丸は車椅子で利用できるトイレや、車椅子を固定して安全に過ごせる客室など、バリアフリーを取り入れた設備が施してあります。その船で今回は午前、午後の2回に分けて、1回2時間の宮島一周の旅に出かけました。ボランティアガイドの方の軽快なお話を聴きながら、海風を身体いっぱい受けて、とても気持ちよいクルーズでした。日頃は地元の住民でもなかなか観ることのできない宮島の裏側も観られ感動しました。

そんな素敵な機会をくださったJR西日本に参加者は感謝の気持ちでいっぱいです。

【廿障連橋会・土屋】



★ 情報部インフォメーション ★



今年も「たのもさん」に参加します

宮島の伝統行事「たのもさん」に今年も参加します。次の日程で「たのも船」を作成しますので、興味のある方はぜひ参加してください。

7月23日(水)、7月30日(水)、8月6日(水)

時間：いずれも13時～

場所：市民活動センター 1階 会議室

※「たのもさん」とは五穀豊穡を祈願して「たのも船」と呼ばれる船を作り海に流す行事です。

今年の「たのもさん」は
8月25日(月)です

今年の「たのも船」は、「廿日市古木工芸愛好会」原田さん作です！こんな船が欲しいとお願いしたら作成を快く引き受けてくださいました。ありがとうございます！飾り付けにも力が入りますね。興味のある方、ぜひ一緒に作りましょう！左記の日程で、作業します。



ネットワーク団体からの

お知らせコーナー

全国車いすけん玉倶楽部「夢」

みんなでけん玉にチャレンジしてみませんか？車いすの方だけでなく、他の障害をお持ちの方や介護者・介助者のみなさんもぜひ一緒に！

スタートイベント、紙けん玉誕生イベント開催！

7月5日(土) 11時～12時(受付10時半～)

あいプラザ3階講座室

※見学だけでも大歓迎！お待ちしております。

新しく考案した「紙けん玉」→ぜひ見に来てください！

◆申し込み・問い合わせ先◆

メール: to_kumasan0426@yahoo.co.jp

TEL: 090-7898-8698(徳政)

④ 介護者・介助等は各自でお願いします。当方では準備できません。

⑤ 当日、けん玉等の販売はありませんのでご了承ください。

主催：NPO 法人広島頸髄損傷 LifeNet



****お問い合わせ先**** 廿日市市市民活動センター
廿日市市住吉 2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742
HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>

****ネットワーク現在の状況****
(平成26年6月末現在)
登録団体 **179** 団体

市民活動情報紙 - さくらdeファミリー -

廿日市市市民活動センター
平成26年夏号
Vol. 28

提案型連携事業決定！

提案型連携事業は、市民活動センターに集う市民活動団体同士が連携し、事業や活動を通して、お互いに支え合うことで他の団体に興味を持ち、理解することによりそれぞれの得意分野を活かした、よりよい活動が展開されることを目的として実施します。応募した団体が6月12日の運営協議会でプレゼンテーションし、審査・選考した結果、次の事業に決定しました。

●夏休み映画祭り

『カールじいさんの空飛ぶ家』

日時：8月24日(日)

①13:00 ②15:30

場所：さくらびあ大ホール

※入場無料

主催：廿日市市文化協会

連携：廿日市市老人クラブ連合会

●秋のレク講習

日時：10月 5日(日)

10月19日(日)

13:30～

場所：市民活動センター

第1研修室

主催：はつかいちレクリエーション

連携：健康体操広島

●クリスマスイルミネーション

日時：11月30日(日)

17:00～子ども達による飾りつけ

17:30～オープニングセレモニー

場所：廿日市市役所前

主催：はつかいち「青少年健全育成」新聞発行委員会

連携：青少年夢プラン実行委員会

はつかいちレクリエーション

スキルアップ講座 (ホームページビルダー入門)を 開催します

◆日時：8月21日(木)

13:30～15:30

◆場所：市民活動センター2階 第2研修室

◆講師：楽塾(佐伯区楽々園) 本田 順子さん

◆定員：20名(先着順)

◆参加費：無料

※申し込みは電話またはFaxをお願いします。

詳細はセンター受付にお尋ねください。

当センターの窓際に、朝顔を植えました。花壇もボランティアの方に手入れしていただき、かわいい花が咲いています。廿日市市環境政策課では、「緑のカーテンコンテスト」が実施されます。皆さんもチャレンジしてみたいかでしょうか？



夏季休館日

8月14日(木)～8月16日(土)

大学生が、皆さんの活動を応援します！

昨年度から、センター1階に設置している「ボランティア募集コーナー」をご存知ですか？このたび、大学と連携し、募集情報を直接、学生ボランティアにも提供することになりました！

現在、山陽女子短期大学、日本赤十字広島看護大学、広島工業大学の学生約100人が、ボランティア登録済。若い力を借りたい団体の皆さん、ぜひご活用ください。なお、今年度からホームページでも募集できます。詳しくはセンター1階協働推進課まで！！



ボランティア募集中！	
団体名	募集開始日(記入)
ボランティア内容	
□ 日時	月 日 曜日 時 分
□ 場所	月 日 曜日 時 分
募集要項	□ 対象
□ 募集人数	人
□ 交通費支給	あり・なし
□ 弁当支給	あり・なし
□ 募集締切	月 日 曜日 時 分
□ 備考	
連絡先	□ TEL ()
	□ FAX ()
	□ e-mail
備考	

ボランティア募集用紙に記入した連絡先を市民活動センター内に掲示すること。団体名やボランティア内容を今後の市民活動センターの運営に活用すること。同意しています。

ネットワーク団体紹介 *しりあっChaO*

今回ご紹介するのは、新しい登録団体の皆さんです。ご新規さまいらっしゃい！（^o^）
また、今年度は廿日市市郷土文化研究会にご協力をいただき、今まで知らなかった廿日市の歴史について紹介していきます。お楽しみに♪

廿日市市をきれいにする会

活動が始めるに至ったきっかけは、元競輪選手、三輪俊之さんの「スポーツは、強いだけではなく地域の人に愛される選手に育って欲しい」という言葉からでした。山陽女学園高等部のサッカークラブの部員が三輪さんの経営しているスポーツジムに通った時、そういう助言をいただきました。その言葉に感銘をうけ、自分たちに何が出来るかを考えた結果、地域への感謝、恩返しの気持ちを込めて清掃奉仕活動を行う事にしました。初回は平成24年12月、山陽女学園高等部サッカークラブの部員と監督、そして三輪さんで行いました。その後、廿日市高校女子ソフトボール部員、同陸上部員へと広がり、現在では高校生から社会人（市民・企業・公衆衛生推進協議会・JR職員・市会議員・警察OBなど）まで、90名を越える賛同者が集まっています。私たちの活動も今年の4月で16回目を迎えました。毎月第1木曜日、午後4時半～5時半の1時間、JR廿日市駅周辺の道路・公園のごみ拾い、草刈り等の清掃奉仕活動を実施しております。



これからの目標は、見るスポーツ（サポーター）、するスポーツを通じて、魅力あるまちづくりに励み、「廿日市市に住んでみたいね。」「廿日市市は、日本一きれいなまちだね。」と言われるように、頑張りますので応援よろしくお願いします。

問合せ先：090-4896-9793【事務局：古原】

ライフネット NPO法人広島頸髄損傷LifeNet

頸髄損傷、脊髄損傷、皆さんは聞いた事はあると思います。自動車事故や転落などで首や背骨の中にある人間にとって最も重要な脊髄を損傷して体に麻痺がでる症状の事です。この症状で多くの方が車いすでの生活を余儀なくされております。

私たちNPO法人広島頸髄損傷LifeNetは広く一般の方々にも頸髄損傷・脊髄損傷の事を知っていただき、障害は特別なものではなく、みなさんと共生していく社会を作る事へのお手伝いが出来たらと考えています。

活動の内容は、自動車事故で後遺障害者となり生きる事、自動車事故撲滅に関する講演を行っています。これまでに中国地方、九州、東京の運送事業者、旅客事業者の方々へ向けて講演しました。また、広島市の中学校では『生きる事』について命の大切さの講演を行っています。そして、同じ障害で入院中の患者さんやご家族の方々からの悩みや不安に対するカウンセリング、障害者就労についての相談、車いすや介護技術の相談などを行っています。

地元廿日市での活動はまだですが、地域の皆様や同じ障害をお持ちの皆様のお役に立てる事がありましたらお手伝いしたいと思っております。お気軽にご相談ください。

問合せ先：090-7898-8698【代表：徳政】



デネブ denebプロジェクト

音楽を通して青少年の音楽活動を支援し、さらには自立支援、地域行事へ参加し地域の活性を目的とした活動団体です。メンバーは、廿日市・五日市出身のインディーズバンドdeneb（デネブ）のメンバーと廿日市出身の音楽活動家などで構成しています。

主に廿日市市や佐伯区の軽音楽の活動をしている中学・高校生と関わり、ライブイベントの開催、楽器・バンド練習のボランティアサポートを行っています。昨年は初めて1泊2日の「夏合宿」も開催しました。また、さくらびあで、ボディーパーカッションを使ったレクレーションや、即興演劇大会を開催し、普段の音楽活動と違ったイベントを行いました。学校や世代の違う仲間と一緒にこのような体験をすることで、力を併せて目標を成し遂げることを学び、また、今後自分たちが進んで行く目標の一つとなりました。

今年は廿日市市市民活動センターへ活動の場を広げ、青少年と造るイベント企画や簡単な音楽クリニック、社会を学ぶため大人も交えた生涯学習セミナーの開催などで、音楽を通した青少年の健全育成に努めたいと思います。よろしくお願いします。

問合せ先：info@denebproject.net【代表：橘】



アイデア発明クラブ廿日市

日常生活の中で不便に感じたり、改良についての思いつきを実用化するため、同じ目的の会員が集まって、毎月第一日曜日午後1時半から例会を開催しています。例会では各々の作品発表に対して質問したり改善提案を出し合い、品質を高めるようにしています。提案書と設計図を作成し、必ず試作品を作り改良点について吟味し、実用化が可能かどうかを検討します。

これまで考案した発明品はランドセルの中蓋、簡易着物、書見文鎮、紙コップホルダー、ツインバッグ、改良シャツ、足踏み健康器、楽しくダンベル、楽器スタンド、名刺入れ等です。発明特許、実用新案特許に登録され、実用化に向けて研鑽中の物もあります。

廿日市市は木工製品が盛んなまちであり、全国的に有名なけん玉の生産地です。ぜひ、市民の方々にアイデア発明について新発想が出されるように待望しています。これまで、人の思いがなかった改良品や、実用化してみたい発想が浮かんだ人は、アイデアを発表し一緒に考えてみませんか。私たちは皆様の参加を歓迎します。ダメでもとものつもりで提案してください。

問合せ先：082-923-7384【代表：松井】



古くから栄えている我が町「廿日市」。その歴史を詳しく研究している廿日市市郷土文化研究会に、意外と知られていない歴史の一端をシリーズで紹介していただきます。

記事協力
廿日市市郷土文化研究会

「桜尾館」
120年前、明治27年（1894年）日清戦争が勃発。宇品港が兵站（へいたん）として戦間地の後方支援施設の総称（基地となり憲政史上初めて東京以外の広島で国会が開かれた。その後、経済発展が進み生活の向上がみられ、廿日市も例にもれず、遊樂施設や公園などが整備された。
明治36年（1903年）6月30日付芸備日日新聞によれば、『佐伯郡廿日市東南の海岸、桜尾新開眺望なる地を選び新設し、潮湯、蒸風呂、海水浴場、桜尾館は木造二階建てに、宏壮なり。背後に広大な亭運動場、養魚池を有し、近々小亭を設け夕涼の便に供すると云いへるはよき思付なり。開業式は6月28日百数十名にて頗（すこぶ）る盛会なりし』とある。
大正5年（1916年）、桜尾新開の再建工事により閉鎖となった。

廿日市・今昔物語